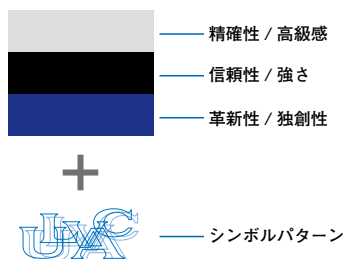


アルバック 真空機器コンポーネントのデザインを一新しました

(株)アルバック規格品事業部は、この度、真空機器コンポーネントのデザインを一新いたします。私達は、お客様にULVAC商品を引き続きご愛顧いただけるよう、製品の機能はもちろんのこと、デザインを含めたブランドの向上を目指し、今回の新デザイン変更を進めてまいりました。

新しいプロダクトデザインのシンボルカラーは3色になります。メインカラーとなるプロダクトブルーは、「革新性と獨創性」を表わします。製品に合わせて3色を使い分け全体的に安心感と機能美を与えるデザインとなりました。

シンボルカラーの特徴をより表すものの一つが機種銘板になります。以前はアルバックロゴ以外に共通性がなく、定格銘板的で目立たないものでしたが、今回はアルバックロゴや型式を見やすくし、ラベルの輪郭をはっきりさせることで、安心感と信頼性を表現しました。真空ポンプや真空バルブのシルバーを基調としたボディにも合い、全体的にバランスのとれたデザインです。



また真空計等の計測器関連のコントローラ部も機種銘板と同様に他製品との統一性を図り、精確性、高級感のあるデザインになりました。さらに操作部、表示部のコントラストを使い分けることで操作性の向上、安全性といったユーザーインターフェースの向上を図りました。8月31日から東京ビッグサイトで開催される「真空展 2011 (Vacuum2011)」でお披露目させていただく予定です。是非とも真空展 2011 に足をお運びいただき、新ブランドとして生まれ変わったニューデザインのコンポーネントをご覧くださいと幸いです。

●お問い合わせ先

(株)アルバック 規格品事業部

東日本営業部：電話：03-5218-5708

西日本営業部：電話：06-6397-2286

URL：www.ulvac.co.jp



韓国半導体関連企業との連携強化 韓国超材料研究所開設

—(株)アルバック

(株)アルバックは、7月1日、韓国京畿道平澤市に韓国アルバックの附属研究所として韓国超材料研究所を設立した。当初20人の技術者が常駐する。同社の研究機関では5番目になるもので、海外での設立は初めてのケースである。

韓国ではさらなる半導体産業への選択と集中が強化され、韓国政府主導の下、素材部品と製造装置の国産化が進行している。一方で、韓国はサムスンなどを代表とする世界トップクラスの半導体メーカーを有し、最新技術情報が集積する環境に恵まれている。

アルバックは韓国超材料研究所を設立することにより、長年培ってきた韓国における事業体制をより強固にするために、現地企業との共同開発を通して拡販を図っていく。

●お問い合わせ先

(株)アルバック・コーポレートセンター
TEL : 03-5218-6070
URL : www.ulvac.co.jp

中国上海で IGBT セミナー開催

—(株)アルバック



(株)アルバックは、6月8日、第1回「中国 IGBT セミナー」を愛発科商貿(上海)有限公司で開催した。

パワー半導体の一つである IGBT (Insulated Gate Bipolar Transistor) は、高耐圧・低損失・高速度動作が特長で、家庭用電化製品のみならず、環境分野の太陽光・風力発電の電力制御など用途が拡大している。

当日は上海近郊はもとより、北京、深圳、吉林、重慶などの遠方から80名の参加者があった。(株)アルバックの中村会長をはじめ、電子機器事業部、半導体事業部より IGBT 製造装置について全10講演があり、アルバックが長年培ってきたパワー半導体の技術やノウハウを十分にPRすることができた。講演後の質疑応答では参加者からの熱心な質問が集中し、中国のパワー半導体市場の勢いを感じられるセミナーだった。



●お問い合わせ先

(株)アルバック 電子海外営業部
TEL : 0467-89-2016
URL : www.ulvac.co.jp

中国で初のアルバックグループ・テクノロジー・コンファレンス

— 清華大学の協力で開催

— (株)アルバック・コーポレートセンター

アルバックグループは5月24日、中国・



清華大学の協力のもと、「アルバックグループ・テクノロジー・コンファレンス (UGTC) 中国2011」(2011年愛発科集団技術検討会)を中国北京市内の清華大学に隣接する文津国際ホテルで開催した。

当日のUGTCの講演は、OLED、LED、太陽電池をメインテーマにして、(株)アルバック中村久三会長をはじめ、清華大学邱勇副学長、同大学の羅毅教授、浙江大學陳紅征教授、(株)アルバック有機EL研究室根岸敏夫理事、当社半導体電子技術研究所鄒弘綱所長による大変中身の濃い有意義な技術セミナーとなった。

当日は初夏の穏やかな天候にも恵まれ、北京近郊を中心に、遠くは内モンゴル自治区から100名を超える多くの参加者があった。

なお、今回の「UGTC2011 中国」は、中国現地法人アルバック商貿とアルバック中国が中心となり、清華大学の邱副校長の強力な力添えなどがあり開催が実現した。

●お問い合わせ先

(株)アルバック・コーポレートセンター
TEL : 03-5218-6070
URL : www.ulvac.co.jp

規格品 WEB 販売サイト立ち上げ 真空計、油回転真空ポンプ、 真空バルブ販売

—(株)アルバック



(株)アルバックは、2011年5月19日から規格品事業部製品のWEB販売サイトを立ち上げた。

アルバック販売サイトの他にも、一般的に馴染みのあるサイト「価格.COM」や「Yahoo 商品検索」などのショッピングサイトにも掲載、拡販のチャンスを広げた。サイトへの掲載製品は、真空計(ピラニ真空計、電離真空計等)・真空ポンプ(油回転真空ポンプ)・真空バルブとし、仕様選定が比較的容易な製品に限定。今後、商品のラインナップを拡大し、また消耗品等も視野に入れ、お客様のニーズに応えていく。

●お問い合わせ先

(株)アルバック 規格品事業部
東日本営業部 TEL : 03-5218-5708
WEB販売専用 TEL : 03-5220-7033
URL : <http://ulvac-store.com/>

JR 大阪駅に EV タクシー向け アルバック製急速充電器設置

—(株)アルバック



7月4日、JR大阪駅の大阪ステーションシティの電気自動車(EV)タクシー乗り場にアルバック製EV急速充電器が設置され、大阪ステーションシティに乗り入れているEVタクシーに充電サービスを開始した。

この急速充電器には、大阪府EVタクシー普及啓発事業イメージキャラクターの「エボット イイゾウくん」と「エレファちゃん」もプリントされ、子供から大人まで親しみやすい工夫が施されている。

これはJR西日本と商社の兼松(株)の共同企画によるもの。今後普及が見込まれるEVへの啓蒙に対する先鞭を果たすものと期待されている。

これはJR西日本と商社の兼松(株)の共同企画によるもの。今後普及が見込まれるEVへの啓蒙に対する先鞭を果たすものと期待されている。

●お問い合わせ先

(株)アルバック
FPD・PV 営業統括部 EM 営業推進部
TEL : 0467-89-2219
URL : www.ulvac.co.jp

太陽光発電と風力発電による 「電動アシスト自転車バッテリー用 充電システム」 茅ヶ崎公園に設置

—(株)アルバック



(株)アルバックはこのほど「電動アシスト自転車バッテリー用充電システム」を開発した。2011年7月10日、神奈川県茅ヶ崎市の茅ヶ崎公園に専用の電動アシスト自転車充電ステーション「ハイブリッドサイクルビット」が設置され、その稼働式典が開催された。

当日は、クリーンエネルギーを積極的に導入している茅ヶ崎市の服部信明市長、アルバックからは諏訪秀則社長をはじめ地元関係者らが多数出席し稼働を祝った。

同システムは、太陽光発電と風力発電を組み合わせたハイブリッド発電システムで、リチウムイオン電池による蓄電機能も備えている。また、商用電源なしにクリーンエネルギーだけで24時間充電が行える。電動アシスト自転車が同時に5台、1日10台分のバッテリー充電が賄えるほか、緊急電源としても使用できる。

このような茅ヶ崎市とアルバックとは、昨年、茅ヶ崎市営駐車場に設置された電気自動車向け急速充電システムの導入に次いで2度目のクリーンエネルギー連携となる。

●お問い合わせ先

(株)アルバック FPD・PV 営業統括部
TEL : 0467-89-2219
URL : www.ulvac.co.jp

量産用 IGZO ターゲット品質改善を強力に推進

— (株)アルバック

IGZO (In, Ga, Zn, O) を用いた透明アモルファス酸化物半導体 (TAOS: Transparent Amorphous Oxide Semi-conductors) で構成された TFT は、従来型 LCD で一般的に使用される a-Si TFT に比べ電子移動度が約10倍程度高い。このため IGZO TAOS は、大型 LCD-TV、スマートフォン、有機EL (OLED) などのディスプレイでの採用が見込まれ、早いところでは2~3年中に量産での使用が開始されるとみられる。

また今後、スマートフォン、メディアプレイヤー、デジタルカメラ、デジタルフォトフ



レーム、大型TV、デジタル機器などで IGZO TAOS および IGZO ターゲットが多く使用されることが期待される。

アルバックのマテリアル事業部は、IGZO TAOS で使用される IGZO ターゲットの製造にいち早く着手し、2008年から日本、韓国、台湾、中国の LCD メーカーの研究ラインに納入しているが、このほど IGZO を用いた TFT-LCD や OLED の量産開始時期に合わせ、量産ライン用ターゲットの品質改善を進めている。

IGZO ターゲットは、①粉末原料、②混合、③成形、④焼成、⑤機械加工、⑥ボンディングの工程を経て製造される焼結ターゲットである。この焼結タイプのターゲットは、スパッタリング中にパーティクルが発生しやすく、基板の歩留りや生産効率などが悪化する原因となる。

マテリアル事業部では、このようなパーティクルを抑制するためターゲットの高密度化、分割数削減に取り組み、高品質な製品の提供を目指している。

*詳しくはホームページをご覧ください。

IGZO ターゲットの量産向け試作品は、アルバック千葉超材料研究所でスパッタリングを行い、成膜データを解析し、プロセスの信頼性確認を繰り返し行ってきた。この結果は、お客様から高い満足度を得られている。

またアルバックの IGZO ターゲットは、FPD 事業部、千葉超材料研究所、マテリアル事業部の2事業部と研究所で、装置、プロセス、材料が一丸で取り組んでいるのも特徴。

●お問い合わせ先

(株)アルバック マテリアル事業部
TEL: 03-5218-6026
URL : www.ulvac.co.jp

低温領域の未利用エネルギー 高効率利用「可搬型小型発電システム」研究開発成果

— アルバック理工(株)



アルバック理工(株)は、150℃以下の低温熱源で、3~12kWの小規模発電を行うシステムを開発し、研究成果を発表した。

従来、150℃以下の低温の熱源は、工場廃熱や温泉熱、太陽熱など多く存在するが、未利用もしくは熱としての利用に限られていた。

本開発では、3kW級の可搬型小型発電システムを製作し、お湯と冷却水を用いて発電試験を行った。一例として、湯温91℃、湯量43 l/min、温度差69℃で、エネルギー回生効率7.2%、発電出力3.8kWを達成し、実用化レベルの発電効率と発電出力を実現した。

本発電システムを実現する上で欠かせないのが、発電機一体型スクロール膨張機(エコスクロール膨張機)である。独自技術に基づき開発を行い、従来にない、小型、高性能、低騒音を実現した。

本発電システムは軽トラックで運搬可能なサイズで、騒音も少ない。従って、熱が出る場所の空きスペースに手軽に設置して電気を取り出すことができる。発電した3~12kWの電力は一般家庭の5~20世帯分の消費電力に相当する。このように、熱エネルギーをとことん電気エネルギーに変換できるため、社会ニーズに対して将来的に大きく貢献していく技術のひとつになると考える。

今後はビジネスパートナーを募り、現場でのフィールド試験を行い、製品化のための基盤技術を蓄積して、順次市場に投入していく予定である。

●お問い合わせ先

アルバック理工(株)
TEL : 045-931-2285
URL : www.ulvac-riko.co.jp

新製品トピックス

アルバック機工(株)

ルーツ型真空ポンプ搭載 小型省エネ排気ユニット「VMシリーズ」

「VMシリーズ」(「VMD-050」および「VMD-030」)は、ルーツ型真空ポンプに油回転真空ポンプおよびドライ真空ポンプと組み合わせることで、補助ポンプ単品の排気速度が減少する圧力領域において、その排気速度を大幅にアップし、排気時間を短縮することができる小型の省エネ排気ユニットである。



【基本性能】

型式	V MR-050
実行排気速度	50 m ³ /h
到達圧力	4.0×10 ⁻² Pa
質量	42 kg
最大寸法	241.4(W) × 532(D) × 399(H) mm
吸入口径	JIS VG40
使用雰囲気温度範囲	7~40℃

型式	VMD-030
実行排気速度	30 m ³ /h
到達圧力	20 Pa
質量	42 kg
最大寸法	346(W) × 473(D) × 423(H) mm
吸入口径	JIS VG40
使用雰囲気温度範囲	7~40℃

●お問い合わせ先

アルバック機工株式会社
東日本営業部 TEL : 045-533-0205
西日本営業部 TEL : 06-6350-2166
URL : www.ulvac-kiko.com

アルバック理工(株)

冷却水不要の空冷卓上型 ランプ加熱装置「MILA-700AR」

「MILA-700AR」は、炉体の冷却に空冷ファンを採用しているため、設置場所を選ばず、壁コンセント(AC100V)さえあれば、すぐに熱処理が行える卓上型ランプ加熱装置です。

従来の水冷タイプでは、冷却水循環装置を装備し、加熱・冷却時には、最大7kWの電力が必要だったが、この「MILA-700AR」では、1.5kWまで抑えることができた。加熱温度範囲は、室温~700℃で、ウエハなど各種材料をはじめ、比較的加熱温度が低い有機材料や樹脂に適している。

●お問い合わせ先

アルバック理工(株)
TEL : 045-931-2285
URL : www.ulvac-riko.co.jp



アルバック理工(株)

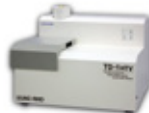
キセノンフラッシュ法 熱拡散率測定装置「TD-1シリーズ」

「TD-1シリーズ」は、エネルギーが小さく、加熱時間が短いキセノン光を採用したことにより、材料を傷つけずに測定できる特長がある。

また、熱拡散率が低く、マイクロメートル単位の薄い高分子フィルム、接着剤、塗料の測定に対応する。多層解析ソフトを標準装備しており、厚さ方向だけでなく、面内方向の熱換算率も評価できる。

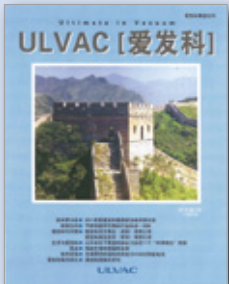
●お問い合わせ先

アルバック理工(株)
TEL : 045-931-2285
URL : www.ulvac-riko.co.jp/



独自編集紙面も加味し中国版広報誌「ULVAC」発行

— ULVAC (China) Holding, Co., Ltd.



当広報誌「ULVAC」は、アルバックとお客をつなぐコミュニティー誌として、1983年の創刊以来28年間もの長い間発行を続けているが、昨年から、従来の日本語版と英語版に加え、新たに中国語版の発行も始めている。

中国語版は、日本語版で掲載された内容も含まれるが、中国独自のユニークな企画誌面が盛り込まれているのが大きな特長である。中国語圏を中心に配布している。

●お問い合わせ先

ULVAC (China) Holding, Co., Ltd.

TEL: + 86-21-6127-6610

URL: www.ulvac-china.com

日本: (株)アルバック・コーポレートセンター

TEL: 03-5218-6070

PLD 姫路新工場立ち上げで迅速・安全対応で感謝状授与

— (株)アルバック



鈴木社長より、感謝状を受ける山元取締役

2011年7月、(株)アルバックは、パナソニック液晶ディスプレイ(PLD)の姫路新工場立ち上げで、「SMDシリーズ」の現地インストール並びに、統括安全衛生責任者として搬入・立ち上げ作業・安全確保に至るまで、広範に及ぶ貢献があったとして、PLDより感謝状が授与された。

特に今回の立ち上げ作業はアルバック九州(株)の多大な功績によるものであったが、表彰式は、アルバックをはじめ11社が招待され、(株)アルバックからは、山元取締役とFPD・PV営業統括部の長谷川部長が代表して出席した。

●お問い合わせ先

(株)アルバック FPD・PV営業統括部

東日本営業

TEL: 03-518-5704

URL: www.ulvac.co.jp

技術講演会開催

企業・研究機関の開発と解析技術を討論

— アルバック・ファイ(株)



アルバック・ファイ(株)は、今年で28回目となる技術講演会を6月1日、3日にそれぞれ東京(於: 建築会館ホール)と京都(於: メルパルク京都)で開催した。

昨年に引き続き、幅広い分野から講演者を招き、同社製品の特徴である「表面分析」にかかわらず、「企業・研究機関における開発と解析技術の関わり」をテーマに講演が行われた。

民間企業からは花王、新日鉄、日本板硝子、パナソニック各社で分析・解析部門を率いる方々からの講演となった。分析技術を通じて深く先端研究に関わってきた講演者から、具体的な事例を挙げた提案、企業における解析部隊のマネジメントから今後の方向性まで、多岐にわたる内容が披露され、「非常に興味深い内容だった、考えさせられた」などの感想

が多く参加者から寄せられた。

一方、物質・材料研究機構の研究者からのご講演では、最先端の研究内容が紹介され、商品化を含む今後に期待する声が多くあった。

アルバック・ファイでは、今後もより充実した講演会を目指し、2012年も6月に技術講演会の開催を予定している。

●お問い合わせ先

アルバック・ファイ(株)

市場開発部 マーケティング室

TEL: 0467-85-9469

URL: www.ulvac-phi.com

LG Display より Best Member 賞受賞 LG Display (LGD) での技術的サポート に対する評価

— (株)アルバック



2011年7月12日に実施された第4回LGD-ULVAC技術交流会の冒頭、FPD事業部第1

技術部5課課長の久司修平がULVACを代表して「Best Member賞」を受賞した。

LGDとULVACは技術交換の場として2008年より技術交流会を実施しており、今回は第4回目であったが、今回はLGDよりこれまでのセットアップの安定化に寄与したとして、ULVACを代表してLGDのKim Tae-Sung常務より表彰された。

アルバックはLGDに液晶ディスプレイ製造用のスパッタリング装置「SMDシリーズ」を多数、納品しており、2001年当時、世界最大となる1m超のマザーガラスのP4ラインのセットアップからアルバックのLGDとの技術窓口として、これまで一貫してLGDのライン立ち上げの安定化に寄与してきた功績が認められての受賞となった。

ライン安定化は、発生するトラブルに対して、ユーザーの視点にたち、問題点を共有し、お互いに議論しあうことで解決することができるもので、今後もLGDとの交流を通じ、関係を深めていく方針である。

●お問い合わせ先

(株)アルバック FPD事業部第1技術部

TEL: 0467-89-2350

URL: www.ulvac.co.jp

●ULVACの紹介はこちらをご覧ください。

<http://www.ulvac.co.jp/>

ULVAC グループ

株式会社アルバック
アルバック九州株式会社
アルバック東北株式会社
株式会社アルバック・コーポレートセンター
日本リライアンス株式会社
アルバック成膜株式会社
アルバック理工株式会社
アルバック機工株式会社
アルバック・ファイ株式会社
アルバック・クライオ株式会社
株式会社昭和真空
アルバックテクノ株式会社
アルバックイーエス株式会社
ULVAC Technologies, Inc.
ULVAC G.m.b.H.
優貝克科技股份有限公司
韓国アルバック株式会社
ULVAC SINGAPORE PTE LTD
OOO ULVAC
愛発科(中国)投資有限公司
愛発科商貿(上海)有限公司
寧波愛発科真空技術有限公司
寧波愛発科精密鑄件有限公司
愛発科真空技術(上海)有限公司
愛発科真空技術(蘇州)有限公司
愛発科(蘇州)技術研究開發有限公司
愛發科東方真空(成都)有限公司
寧波愛發科低溫泵有限公司
愛發科自動化科技(上海)有限公司
愛發科中北真空(沈陽)有限公司
愛發科電子材料(蘇州)有限公司
愛發科天馬電機(靖江)有限公司
愛發科光電薄膜科技(深圳)有限公司
洛陽鑫友鋳業有限公司
香港真空有限公司
三弘アルバック株式会社
株式会社イニシウム
タイゴールド株式会社
シグマテクノス株式会社
日真制御株式会社
(株)RAS(アールイーエス)
アルバックエンジニアリング株式会社
アルバックエルダー株式会社
アルバックヒューマンリレーションズ株式会社
真空セラミックス株式会社
韓国ULVAC精密株式会社
Pure Surface Technology株式会社
韓国アルバック・クライオ株式会社
UF TECH株式会社
韓国アルバックマテリアルズ株式会社
優貝克研究センター股份有限公司
超淨精密科技股份有限公司
優貝克軟体研究股份有限公司
優貝克材料股份有限公司
優貝克自動化股份有限公司
台湾成膜光電股份有限公司
台湾菱真電子材料股份有限公司
Physical Electronics USA, Inc.
アルバックタイ
アルバックマレーシア